

2019年度地域包括支援センター職員基礎研修のご案内 参考資料

【よくあるお問い合わせと回答】

Q：長寿社会開発センターが主催する職員基礎研修の特長は？

A：講師は地域包括支援センターに勤務または過去に勤務した経験を有する複数の方をお願いしており、それぞれの経験を持ち寄って合議により研修資料を作成し、実践的な講義・演習を心がけています。また、座席については異なる地域の方と隣り合うよう配置し、情報交換や人脈づくりのきっかけを設けています。「隣の人と話ができ良かった」という声を毎年多くいただいています。

Q：新規職員が決まり次第（申込締切後）、申込みをしても大丈夫か？

A：締切日以降のお申込みはお受けできかねます。毎年、殆どの会場が締切日前に定員を超過している状況です。受講者が確定していない場合は記入者の名前でお申込みいただき、決まり次第受講者変更をお願いしています。

Q：昨年受講できなかった勤務6か月以上の者は受講できるか？

A：基礎研修は「概ね勤務6か月以内の職員」を対象にした基礎的な内容ですが、受講されるご本人がその旨ご了解の上で受講するのは可能です。

【昨年度（平成30年度）受講された方の感想（受講者アンケートより抜粋）】

※科目ごとに伺っています。

「総合相談支援業務」

- どのような視点で総合相談に対応する必要があるのか、その対象は市民全てであることを明確に理解することができた。
- 事例を通して、他の受講者の考えを聞いて勉強になった。チームとして様々な情報を共有し取り組んでいきたい。

「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」

- 包括的・継続的という単語の意味がわからない状態から受講したが、本人の機能や能力を活かした生活を継続するために必要な支援をコーディネートするという内容を理解できた。
- 環境整備の実践、個別ケアマネジメント支援の実践について、図での解説も多くあり、とてもわかりやすかった。

「権利擁護業務」

- とても濃い内容のものだったが、わかりやすかった。社会福祉士を中心に関わることが多いが、医療職としての大事な立ち位置を理解できた。
- 具体例が多く、とても理解しやすかった。法の根拠までしっかり示されたので、業務で確認しやすく助かる。包括から行政へのアプローチもあったので、行政としてどう受けるか（受ける体制を整備するか）検討したい。

「自立支援に資する介護予防ケアマネジメント」

- 総合事業から自立支援まで“今後に生かせる講義”だった。
- アセスメントをしていく上で、できる能力、している行為、できないこと、していない行為の見極めをして、自立支援に向けたマネジメントに取り組んでいきたい。
- 普段作っている予防プランの内容を振り返り、自分にどのような聴き取りやアセスメントが足りなかがわかった。